

第70回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書のお知らせ

謹啓

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこのほど、本年度の青少年読書感想文全国コンクール・高等学校の部の課題図書に、多くの出版物の中から、三社の図書が選定されました。同封にて各種資料をお送り申し上げますので、ご参照ください。

ご高承のとおり、青少年読書感想文全国コンクール（主催…公益社団法人全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援…文部科学省・こども家庭庁）は、「読書の深化とひろがりをはかり、読書生活の習慣化を育てる」ことを目的として昭和三十年に実施されて以来、多くの先生方や関係者の多大なるご支援のもと、前六十九回には二百六十五万編を超える感想文が日本全国をはじめ海外日本人学校からも多数寄せられ、参加校は二万三千校を超える大きなコンクールとなりました。

高等学校学習指導要領では、新たに「総合的な探究の時間」や「探究」を掲げる教科が始まり、「探究」を重視するようになりました。「総合的な探究の時間」は、生徒自らが問いを立てて、課題を見つけ、情報を集め、意見交換等を通して、課題解決する能力の育成を目指しています。つまり、各教科の知識や情報活用能力、言語力、読解力等を活用する授業です。このことは、読書を通して、読書で得た感動を文字で表現して伝える、読書感想文を書く過程と共通するものがあります。

貴校におかれましては、本コンクールへ積極的にご参加いただき、生徒への読書指導にお役立ていただければ幸いに存じます。ポスター、実施要項などは、青少年読書感想文全国コンクールのホームページにてダウンロードできますので、ぜひご活用ください。

なお、同封いたしました生徒配布用チラシおよび封筒をご入用の際は、同封の申込書をご利用いただき、貴校出入りの書店にお申しつけくださいますよう、お願い申し上げます。

今後とも本コンクールへのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

令和六年五月

課題図書高等学校の部 出版社

文 藝 春 秋
評 論 社
河 出 書 房 新 社

各位

現在、国を挙げて子どもの読書活動を推進するために数多くの施策が実施されています。「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に、学校図書館を生かすことが、新学習指導要領の総則に明記されたことは大きいと捉えています。

さらに、文部科学省は学校図書館の図書を充実するために「学校図書館図書整備等5か年計画」を策定しています。これは、令和四年度からの五年間に総額で二千四百億円、一年間で四百八十億円を地方交付税措置するものです。こ

の中の百九十五億円が図書の増加分、八百億円が図書の更新分で、新しい図書への更新費用の方が増加分より多くなります。

子どもたちには、最新情報が掲載されている新しい図書を使った学習や読書の喜びを味わってほしいと考えます。これは地方交付税なので、各自自治体に対して図書費として予算化する為の働きかけが必要です。

公益社団法人全国学校図書館協議会 理事長 設楽敬一